

地域連携	早期体験学習
-------------	---------------

[演習] 第1学年 通年 必修
 [授業方法：SGD、PBLを含む]
 2単位

《担当者名》教授 / 中川 宏治
 教授 / 二瓶 裕之
 教授 / 木村 真一
 教授 / 鈴木 一郎
 准教授 / 近藤 朋子
 講師 / 水野 夏実
 助教 / 藤崎 博子
 特別講師 / 石丸 竜大 (時計台薬局)

教授 / 浜上 尚也
 教授 / 笠師 久美子
 准教授 / 町田 拓自
 准教授 / 新岡 丈治
 講師 / 姫嶋 瑞穂

講師 / 木村 治
 教授 / 足利 俊彦
 准教授 / 小田 雅子
 講師 / 金 尚永
 講師 / 岩尾一生

准教授 / 堀内 正隆
 講師 / 久保 儀忠
 助教 / 平出 幸子

特別講師 / 秋野 光明 (日本赤十字社)

【概要】

薬学生として6年間の学修のモチベーションを高めるために、将来活躍する場となる医療現場（病院、調剤薬局）や関連施設で勤務している薬剤師からの講義を通して、社会における薬剤師の役割や職務の重要性について学修内容から討論し、それらをまとめて発表する。

本学習の目的は、薬学生として自分の将来目標を達成するために、薬剤師として活躍すべき場所がどのような環境にあり、どのような社会的役割を果たすのか、そしてその目的に向かってどのような学修が必要であるかを様々な施設（現場）で勤務する薬剤師からの講義や学生どうしの討論を通して実感することにある。医療現場で活躍するためには、それを裏づける様々な能力が必要である。それらの能力を身につけ、目標を達成するためのモチベーションを高めるために、現場の体験学習が6年間の学修の礎となるように積極的に取り組み、個々人の目標とする将来像について議論する。

【学修目標】

薬剤師が医療及び社会全体に果たす役割についてきちんとした認識を持ち、あわせて薬学の現状、将来についても正しい認識を有し薬剤師を目指す心構えを身につける。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 2	ガイダンス マナー	<p>早期体験学習の授業内容と授業の進め方について説明できる。</p> <p>患者・生活者の視点に立って、様々な薬剤師の業務を見聞き、その体験から薬剤師業務の重要性について討議する。(知識・態度)</p> <p>施設訪問時のマナーについて説明できる。</p> <p>【SGD】10名程度のグループに分かれて、訪問の際のマナーについてSGDを実施する。討議したことについて各自でまとめてgoogleフォームで提出する。</p> <p>関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 F-(1)- -1</p>	中川 宏治 小田 雅子 二瓶 裕之 浜上 尚也 木村 治 木村 真一 笠師 久美子 足利 俊彦 近藤 朋子 平出 幸子
3) 4	一次救命処置	<p>一次救命処置（心肺蘇生、外傷対応等）を説明し、シミュレータを用いて実施できる。(知識・技能)。</p> <p>関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 F-(1)- -3</p>	浜上 尚也 中川 宏治 平出 幸子 木村 治 二瓶 裕之
5) 7	薬剤師関連施設	<p>患者・生活者の視点に立って、様々な薬剤師の業務を見聞き、その体験から薬剤師業務の重要性について討議する。(知識・態度)</p> <p>地域の保健・福祉を見聞した具体的体験に基づきその重要性や課題を討議する。(知識・態度)</p> <p>薬剤師関連施設における薬剤師の業務の特徴、地域医療における薬剤師の役割を説明・討論できる。</p>	秋野 光明 中川 宏治 二瓶 裕之 浜上 尚也 木村 治 足利 俊彦 鈴木 一郎 近藤 朋子

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		<p>【SGD】10名程度のグループに分かれて、薬剤師関連施設の業務の特徴、地域医療における薬剤師の役割などについてSGDを実施する。SGDでは、グループごとにオンラインアプリケーションの共有ドキュメントを使った意見交換をする。</p> <p>関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 F-(1)- -1,2</p>	<p>金 尚永 水野 夏実 久保 儀忠</p>
8) 10	保険薬局	<p>患者・生活者の視点に立って、様々な薬剤師の業務を見聞し、その体験から薬剤師業務の重要性について討議する。(知識・態度) 保険薬局における薬剤師の業務の特徴、地域医療における薬剤師の役割を説明・討論できる。</p> <p>【SGD】10名程度のグループに分かれて、保険薬局の業務の特徴、地域医療における薬局薬剤師の役割などについてSGDを実施する。SGDでは、グループごとにオンラインアプリケーションの共有ドキュメントを使った意見交換をする。</p> <p>関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 F-(1)- -1</p>	<p>石丸 竜大 中川 宏治 浜上 尚也 木村 治 二瓶 裕之 町田 拓自 近藤 朋子 新岡 丈治 金 尚永 水野 夏実 姫嶋 瑞穂 藤崎 博子</p>
11) 13	病院薬局	<p>患者・生活者の視点に立って、様々な薬剤師の業務を見聞し、その体験から薬剤師業務の重要性について討議する。(知識・態度) 病院薬局における薬剤師の業務の特徴、地域医療における病院薬剤師の役割を説明・討論できる。</p> <p>【SGD】10名程度のグループに分かれて、病院薬局の業務の特徴、地域医療における病院薬剤師の役割などについてSGDを実施する。SGDでは、グループごとにオンラインアプリケーションの共有ドキュメントを使った意見交換をする。</p> <p>関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 F-(1)- -1</p>	<p>岩尾 一生 木村 治 浜上 尚也 中川 宏治 二瓶 裕之 笠師 久美子 堀内 正隆 近藤 朋子 平出 幸子</p>
14) 15	発表会	<p>早期体験学習で学んだことをスライドにまとめて、発表会ができる。 【発表会】 学生ひとり一人が早期体験学習で学んだことをスライドにまとめて、クラウドの共有ドライブに提出する。なお、スライドは、「情報科学」と授業科目連携をしながら作成する。ルーブリック評価表に基づいてピア レビューをする。</p> <p>関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 F-(1)- -1,2</p>	担当者全員

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

実習態度 30%、レポート 60%、発表内容及び発表態度 10% により評価する。

PBL及びSGDにおいては、10人1組の各グループごとに担当教員がチューターの役割を果たす。

【備考】

毎時間PCを持参すること。

【学修の準備】

各施設を訪問するに先立ち、自分が訪問する施設に関する事柄を、資料やネット等を使い詳しく調べておき、体験学習を有意義なものにする(50分)。

【関連するモデルコアカリキュラムの到達目標】

F 薬学臨床

(1) 薬学臨床の基礎【 早期臨床体験】

【薬学部ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

2. 有効で安全な薬物療法の実践、ならびに人々の健康な生活に寄与するために必要な、基礎から応用までの薬学的知識を修得している。
5. 後進の育成に努め、かつ生涯にわたって常に学び続ける姿勢と意欲を有する。